

周辺見所のご案内

四季折々の表情で迎えてくれる浄土ヶ浜。その周辺には美しい自然とあふれる遊歩道があります。春の草花に始まり、小鳥のさえずりに目を傾げ、夏の海は白い岩を輝かせ、秋の風が海を渡る。新鮮の味もどき、そして静寂の心。季節ごとくその美しさを魅せる詩情あふれた浄土ヶ浜周辺を散策してください。



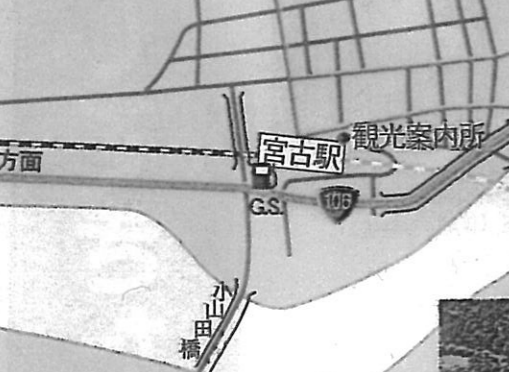
天然記念物「潮吹穴」



観光船に群がるウミネコ



魚市場



施設案内

名称 岩手県立水産科学館 TEL 0193(63)5353
FAX 0193(64)4855
所在地 〒027-0001 宮古市日立浜町32番地28
敷地面積 5,671㎡
建築面積 1,534㎡
館内施設 常設展示室600㎡、特別展示室100㎡、
集会室 70㎡、エントランスホール 135㎡、
休憩室 48㎡、収容庫 180㎡、研究室 28㎡、
工作室 23㎡、事務室 47㎡等
館外施設 屋外展示場 500㎡ (魚礁ブロックや磯船
が展示されています)
体験学習場 500㎡ (ロープの結び方等が
体験できます)
キャノピー 300㎡
駐車場 園立公園内の第2、第3駐車場をご利用
ください。



本州最東端「鉾ヶ崎灯台」



夏の浄土ヶ浜



岩手の海と暮らし



水産科学館

200km
200カイリ
200mを科学する

利用案内

- 開館時間 9時から16時30分まで
(ただし入館は16時まで)
- 休館日 日曜日 (国民の祝日と重なる場合は翌日
年末年始 (12月28日から1月4日まで))
- 入館料

区分	個人	20人以上の団体
一般	300円	1人につき140円
学生	140円	1人につき70円
高校生・中学生・小学生	無料	無料

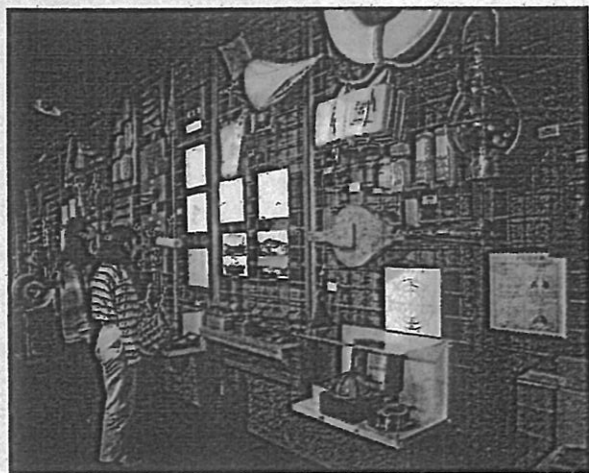
- 団体見学前にご連絡ください。
- ご注意 展示品にはさわらないでください。
他の人の迷惑となることはやめましょう。
- 交通案内 宮古港より約4km
バスのご利用は
「宮古市観光バス」が運行する「サカサカビル」下車
徒歩約5分

岩手県立
水産科学館
ウォリヤス

〒027-0001 岩手県宮古市日立浜町32番地28
TEL 0193-63-5353 fax 0193-64-4855

海とともにもっと暮らししてきた人々の歴史

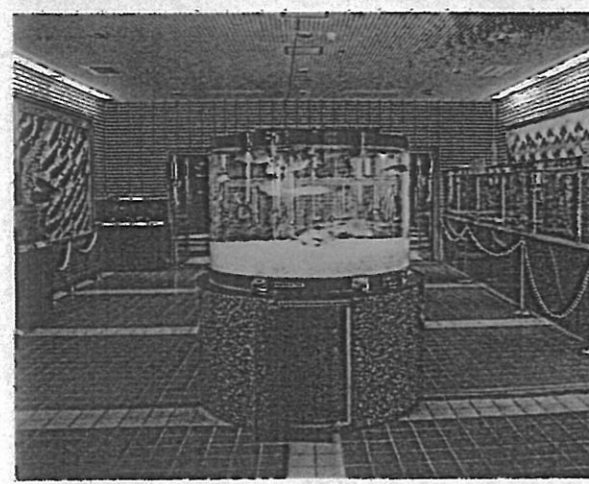
豊富な展示でいわての海を知らぬ



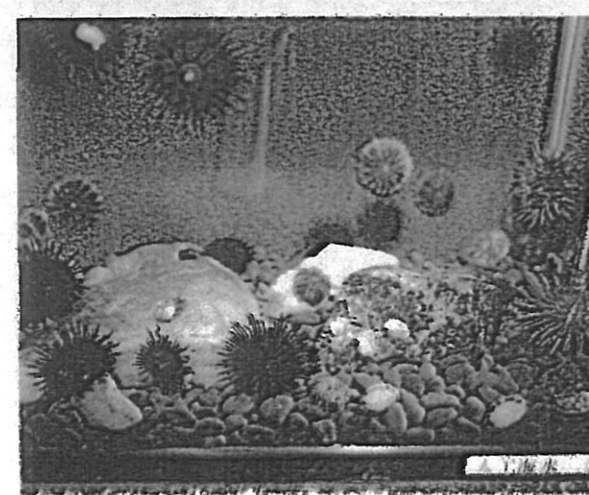
漁船具の標本



サケマス剥製

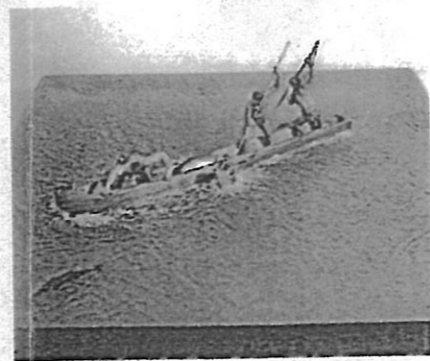


おさかなコーナー

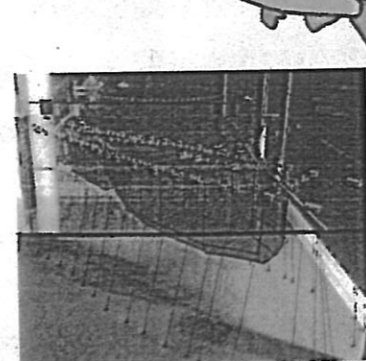


1 漁業とくらし

- 漁業のはじまり 縄文時代の貝塚や漁具、漁撈模型を展示しています。
- 漁村のあゆみ 地びき網模型や長崎俵物、古文書等の「近代の漁業」、漁業許可証、鑑札、漁獲高の推移等の「近代の漁業」、「三陸大津波」と漁村の関係等を展示しています。
- 漁家の儀礼と信仰 漁家の習俗と信仰を展示。
- 網漁具と漁法 網漁具の種類と使用法を展示。
- 釣漁具と漁法 釣漁具の種類と使用法を展示。
- 雑漁具と漁法 網漁具や釣漁具以外のいろいろな雑漁具を展示。
- 副漁具と航海具 うきやおもりなど補完的な働きをする副漁具や、ろ、かい、信号灯等の航海具を展示しています。
- 「漁の一日」映像コーナー VTRで岩手県の漁船漁業の姿を紹介しています。



縄文時代の魚をとるようす



定置網



民俗と信仰

2 いわての海

- いわての海岸のすがた 岩手県海岸地形模型(1/70,000)で水産関連施設を押ボタン方式で展示しています。
- いわての海岸の特色 岩手県北部の隆起海岸、南部のリアス式海岸のかたちと景観を展示しています。
- いわての漁場の特色 季節ごとの岩手県沿岸漁業を海流や水温の変化と関連づけて展示しています。
- いわての海の魚たち 岩場から深海域までの主な魚介類(約100種類)の生態モデルを大ジオラマで展示しています。
- スタディコーナー 展示品等についてのより詳細な情報をアルバム式ファイルにセットして2カ所で見られるようになっています。



ジオラマ



ワカメの展示コーナー



海岸地形模型



集会室(体験学習室)

3 躍進するいわての水産

- いわての漁場の開拓 増養殖漁場造成や魚礁漁場造成事業を紹介し、開発前後の生産量の推移を展示。
- 未来のいわての漁場 マリノベーション構想をもとに海洋を立体的に利用し、生産力を高めていく漁業の未来像を押ボタン方式で展示しています。
- 「明日にはばたく岩手の沿岸漁業」マルチスクリーンコーナー 新岩手県水産基本計画をもとに、県水産業の現状と各種の施策を3面マルチスクリーンで紹介しています。
- サケ・アワビ・ワカメ・ホタテガイ・ウニ これらは岩手県が主力生産している種類です。7テーマで紹介。①人とかかわり②なかまの紹介③ライフサイクル④生物学特性⑤増養殖技術⑥漁具漁法⑦食品加工、装飾品
- 「増養殖技術」映像コーナー VTRでサケ、アワビ、ワカメの増養殖技術を紹介。①おさかなコーナー(ミニ水族館) 宮古周辺のさかな等を飼育展示します。



鮭のなかま



三面マルチスクリーン



未来の岩手の漁場模型

科学館周辺ガイド

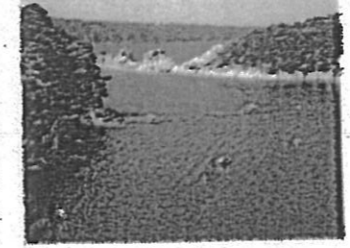
水産科学館は浄土ヶ浜から徒歩10分の台地に位置し、蛸の浜、日出島、潮吹き穴、姉ヶ崎などの景勝地を科学館そばの剛台展望所から眺めることができます。また陸中海岸のダイナミックな景観は遊覧船からも楽しむことができます。また、遊覧船に近づくウミネコの群にパンを与え、楽しむことができます。

宮古港海戦碑 宮古湾で戦った幕軍の軍艦「回天」と官軍の軍艦「甲鉄」をしのんで建てられた碑。わが国初の洋式海戦として知られる。



白木山 水産科学館そばの遊歩道から3分、散策コースになっている。春は桜・カタクリが美しく、ここからは宮古港が眺望出来ます。

御台場展望台 宮古港海戦碑側の遊歩道から5分、赤松の林に囲まれた展望台。ここからは奥浄土ヶ浜を見ることが出来ます。



宮古市魚市場 県内最大の水揚げを誇る魚市場は自由に見学することが出来ます。平成8年公設の魚市場としてオープン。